

1 経済の好循環

(3) 生産性の向上 ⑤カーボンニュートラル実現に向けた自動車産業及び船舶産業等への支援

国への提案事項

カーボンニュートラル実現に向けた地域の実情に応じた支援

- カーボンニュートラルを起点とした付加価値創出に向けて、自動車産業における車載用蓄電池及び電動化に係る関連部品並びに船舶産業の燃料転換等に係る研究開発、製造、それらの拠点整備に加え、地域企業に対する技術開発や人材の育成・確保、共用設備の整備等に係る支援を中長期的に行うこと。
- 地域の自動車産業や船舶産業の競争力強化に必要なカーボンニュートラルなエネルギーの調達について、地域間格差が生じないよう支援すること。
- LCAによるカーボンニュートラル達成に向けた「自動車産業の電動化シフト」及び「造船産業の燃料転換」を進めるうえで、輸出産業が不利益を被らないように、諸外国の動向も踏まえたCO₂排出量の可視化の統一的なルールや規格を策定した上で、地域企業への普及を推進するための支援等を行うこと。

※LCA(Life Cycle Assessment):製品やサービスのライフサイクルを通じた環境への影響を評価する手法

- 車体課税については、LCAによる環境性能評価を基準とした公平・公正な税制となるよう、必要な対策を講じること。
- 小水力発電の導入促進のため、新工法の開発や設備の標準化等による導入コスト削減に向けた開発支援をすること。

【提案先省庁:経済産業省、国土交通省、環境省】

現状／県の実組状況等

《自動車産業の現状》

- 県内サプライヤーと完成車メーカーの合併会社が設立されるなど、県内で電動駆動ユニットの開発・生産に向けた動きがある。

《船舶産業の現状》

- 県内造船企業による、水素船・LNG船等の次世代燃料船の開発が開始されている。

【県の実組状況】

- 本県では、カーボンニュートラルを起点とした付加価値創出実現のため、主要産業である自動車産業の電動化対応及び船舶産業の代替燃料への転換へ向けた支援に取り組んでいる。
- 特に、自動車産業の電動化に向けては、EV研究プロジェクトを立ち上げ、サプライヤーの技術提案力強化・開発人材の育成を推進している。

【カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業】
CNiに向けたワークショップの開催、実証支援など

【新たな価値づくり研究開発支援事業】
(補助率、限度額)
重点:2/3以内、5,000万円
(デジタル化、CNiに係る新分野展開・事業転換)
一般:1/2以内、5,000万円

【次世代ものづくり基盤形成事業】
自動車サプライヤーの技術シーズ探索等への支援・開発人材等の育成

- 本県では、地域に存在する未利用水力を活用した小水力発電の普及促進に取り組んでいるところである。

課題

- 車載用蓄電池をはじめ、電動化に係る主要な関連部品について、完成車メーカー周辺地域で開発・製造する必要があるが、電動化に向けて今後本格的に動き出す本県の実情を鑑みると、拠点整備には時間を要する。
- 本県では、サプライヤーの技術提案力強化に向けた支援を行っているところであるが、開発に取り組む地域企業では、「人材」、「資金」、「カーボンニュートラルなエネルギー」の確保が継続的な課題となっている。
- 地域産業がカーボンニュートラルを起点とした付加価値を創出し、国際競争力の向上を図っていくためには、国際的な動向を踏まえた統一的なルールや規格の早急な策定とその浸透が望まれる。
- 与党税制改正大綱においては、次のエコカー減税到来時(R8年4月末)までに自動車関係諸課税の見直しを進めることとしている。
- 小水力発電の普及に際して、水量があっても設置費用が高く採算性が取れないため、事業者等が関心があっても検討段階で頓挫するなど、導入が進んでいない。